

事業番号	262
------	-----

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	講座開催事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業以外		担当課	東部市民センター		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 生涯学習		1 学習の機会を提供します				
		副目的							実施計画対象		
	予算区分	款	10	項	5	目	2	大	5	中	3
	根拠法令・個別計画	社会教育法第22条、公民館法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市民に対して様々な学習の機会を提供し、いきがいのある暮らし、住みよいまちづくり形成の一助とする。									
	内容 (手段)	<p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民講座開催 前期市民講座 3講座(夏を乗り切る健康料理、笑って脳トレーニング、初めてのビーズアクセサリーづくり)延べ22回 後期市民講座 4講座(オカリナの優しい音色を楽しもう、身近な和食を見直そう、小牧歴史探訪、生活 に役立つおもしろ科学実験) 延べ22回 ・短期市民講座 (パパママと一緒に美味しく楽しい親子パンランチづくり、親子でまなぶ気象のフシギ) 計2回 ・ゆうゆう(高齢者)学級、つつじ(女性)学級 各1学級20回 市民講座は1講座5回～10回で、受講料は1回当たり150円 ゆうゆう学級・つつじ学級の受講料は年間3000円 講師は外部から招き、運営・企画(テーマ調査等)は市職員で対応 <p>○26年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼(917千円) 旅費(14千円) 消耗品、食糧費(14千円) バス借上げ等(97千円) 【その他財源の内訳】 講座受講料(86回:470千円) <p>○27年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼(1,110千円) 旅費(19千円) 消耗品、食糧費(20千円) バス借上げ料等(247千円) 【その他財源の内訳】 講座受講料(517千円) 									
	受益者負担	有	受講料として150円×開催回数、材料費は必要に応じ徴収 ゆうゆう学級、つつじ学級、年間3,000円								

		単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	1,254	1,314	1,042	1,396	
		正職員	従事者数	人	0.55	0.55	0.55	0.55
			人件費	千円	2,893	2,893	2,893	2,893
		その他職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	334	334	334	334
		費用合計	千円	4,481	4,541	4,269	4,623	
	対前年比	%		101.3	94.0	108.2		
財源	一般財源	千円	4,055	3,940	3,799	4,106		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	426	601	470	517		

業	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	績	市民講座開催数	回	目標	63	63	63
実績				63	60	46	
女性学級		回	目標	20	20	20	20
			実績	20	20	20	
高齢者学級		回	目標	20	20	20	20
			実績	20	20	20	
成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27	
受講者数(市民講座)	人	目標	250	250	250	250	
		実績	175	255	161		
受講者数(女性・高齢者学級)	人	目標	100	100	100	100	
		実績	100	100	100		

事業の自己評価	平成26年度の実施結果	事業の達成状況	受講者アンケートをもとに市民の興味・関心のある講座、社会的課題に対応した講座、地域ブランド関連講座として親子講座等、多様な講座を企画し、学びの場が提供できたが、「防災減災講座」は応募が少なく実施できなかった。講座終了後、3グループが自主サークルとして立ち上がった。				
		事業実施における課題	市民のニーズにあった講座を企画し、多くの人が受講しやすい環境整備が必要である。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	社会教育法第20条、第22条により、公民館の目的、目的を達成する為に事業を行うことが明記しており、その事業を縮小・廃止する事は、公民館の存在意義を問うことにもつながる。				
	平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	ゆうゆう・つつじ学級の重複受講を防ぐため、こまなびサロンで一括募集とした。土曜日開催や託児付講座開催により幅広い年齢層に受講しやすい環境を整えた。				
	平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	社会教育法・公民館としての意義を守り、生涯学習の拠点としての役割を発展させ、住民の自主的な活動を育成し支援していくため、今後も事業を継続していく必要がある。					
	28年度以降の改善案	市民との協働で市民自ら講座を企画、運営する市民企画講座も実施し、学習の成果が活かされ、市民同士のつながりを深め、広げることを推進する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。講座開催事業については、25年度に実施した経営分析の結果を基に改善に取り組むこと。